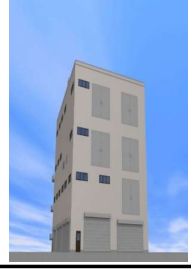


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	パナック工業 ND棟新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県南足柄市広町字上瀬下392他	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし(法22条区域)、広町地区地区計画区域	平均居住人員	3人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2024年4月8日
敷地面積	1,304 m ²	作成者	株式会社秋山設計
建築面積	655 m ²	確認日	2024年4月8日
延床面積	2,288 m ²	確認者	株式会社秋山設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.4 ★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: #DIV/0!

③ 上記+②以外の: #DIV/0!

④ 上記+: #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.0

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
東名高速道路大井松田ICより車で15分とアクセスのよい工業地域で、光学向け樹脂を製造する工場を建設し、出荷効率をあげることで環境に配慮した		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
	・機器設置のため階高を4.2m以上確保した ・空間の形状(壁長さ比率)を0.18とした ・荷重のゆとりを確保するため床荷重を4900N/m ² とした	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	発泡剤不使用(断熱材等)	燃焼機器の使用なし

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される